



ペンペン草



塩尻要約筆記グループ機関紙 72号 : 2025年3月

日ごとに春めいて花便りの嬉しい季節となりました。
2024年度後半のペンペン草の機関紙をお届けします。

8月

テンプレート前ロール講習会

パソコン班 S

8月18日(日)、佐久要約筆記グループの N さんを講師にお招きして、パソコン要約筆記用ソフト IPTalk の「テンプレート前ロール」機能の講習会を開催しました。塩尻総合文化センターを会場として、パソコン班9名とともに中南信で活動されている4名(木曾1名、飯田3名)が受講しました。

長野県内の要約筆記の現場において、東北信では「テンプレート前ロール」、中南信では「原稿前ロール」が使用されています。それぞれ、準備した前ロールを表示部に送信する際に、テンプレート前ロールは、その場で修正・追加等編集しながら、原稿前ロールは、あまり修正することなく表出する場合に適しています。

当日は、テンプレート前ロールの様々な機能の具体的なご説明とともに、リアルタイム入力時の活用方法、グループ内での連動設定の難しさ等、実技を交え丁寧にご教授いただきました。現場に合わせて各機能を使うことができるよう、今後も継続して習得に努めていきたいと思っております。



9月

全要研集会 2024 秋季 に参加しました

手書き班 N

9月29日の日曜、午前午後と開催された集会に参加しました。

久しぶりの対面での開催。名古屋市金山駅前が会場です。小旅行気分で行きました。

午前の全体会は、東北大学の邑本俊亮(むらもととしあき)先生の「文章を理解するとは」と題した講演があり、午後は3つの分科会に分かれて研修しました。

邑本先生は、人間の言語コミュニケーション活動の認知過程や影響を及ぼす諸要因に関して研究をしている方です。要約筆記者養成テキストの第10講の要約の学習に登場し、その研究が紹介されています。先生は話し上手！実演も交えて、要約に関する話も盛り込んで、初めて聞く単語もありましたが、興味深く聞きました。

特に納得したのが文章理解の心理プロセスのところで、単文の羅列があれば知識を使って情報を補い、文と文をつなげて理解しようとするとのこと。私の悪いくせだと思うのが単文の羅列で、それは読み手の負担になるだろうと思いました。手書きの場合の目標は、難聴者 H さんの言われたように「見てわかる要約筆記」だと思っているのですが、道は遠いです。

全要研ではウェビナー研修も実施しています。ホームページでチェックして、ぜひ参加してみてください。

(午後の分科会については次号にてご報告いただきます。お楽しみに！)



11月

一足早いクリスマス交流会

手書き班 M

今年度も本格的な寒さが来る前に一足早いクリスマス交流会を開催しました。

11月20日(水)10時~12時半、会場 塩尻総合文化センター 大会議室

参加者は ペンペン草メンバーと木曾のサークルの K さん、

難聴者5名と N さんのお母様 計14名

りんごチームとみかんチームに分かれてのチーム戦と個人戦で交流しました。

- 1 はじめに新聞紙の棒を使ってストレッチ体操をした後、その棒を使って、行きは後ろの人に、帰りは前の人に渡していく棒リレー
- 2 紙コップを使ってお手玉を箱に投げ入れる玉入れ
- 3 仲間を早く集めよう！

袋の中に手を入れ、お題にあった5枚のカードを取り出すゲーム。

袋の中に全く関係のないカードが紛れています(お題:クリスマス、お正月 など)。

5枚のカードがなかなか出でこず大笑いでした。

4 トイレットペーパー引っ張り紙相撲 個人戦トーナメント

約60cmに切ったトイレットペーパーの端を同時に引っ張って長いほうが勝ち。
引っ張り方にコツが必要？



1 棒リレー



2 お手玉入れ



3 仲間集め



4 トイレットペーパー紙相撲

ゲームの後、助六寿司とお菓子で会食。和気あいあい会話が弾みました。
恒例のビンゴゲームも行いました。24マス埋めるだけなのに毎回ワクワクしますね。
景品もユニークでパネルのクリスマスツリーにつるしたお菓子をお土産にしました。
最後に集合写真も撮りました。皆さん終始笑顔で楽しい交流会でした。



毎年、参加しやすい分かりやすいゲームを考えていますが、アイデアをお待ちしています。準備、通訳、片付けのご協力ありがとうございました。〔担当 手書き班 K、M〕

2月

「カンナの会」講演会

手書き班 H

2月18日(火) 塩尻市保健福祉センターで、点字サークル「カンナの会」主催の講演会が開催されました。

パリパラリンピックにブラインドサッカー選手として出場した平林太一さんと、平林さんをサポートしている日野先生のお話を聞くことができました。

平林さんは、現在 松本美須々ヶ丘高校3年生で、4月には早稲田大学に入学予定。

塩尻の「カンナの会」や、諏訪の「光の会」、元松本盲学校の先生たちをはじめ全国の100名以上の点訳者が、平林さんの教科書や副読本の点訳に関わって、高校生活を支えたそうです。

会場には、大量の点訳した教科書が展示されていました。

なお、平林さんの美須々ヶ丘高校への入学に際し、県は点字ブロック敷設費用をすぐに予算化、また教科書の点訳費用についても2年目には予算化したとのこと。

また、美須々ヶ丘高校では、平林さんの入学によって、点訳ボランティアの活動が始まり、ボランティア・スピリット・アワード・ブロック賞を受賞したそうです。障がいのある人と共に学生生活を送ることで、周りの生徒にも大きな学びがあったのかなと思いました。

平林さんは学校生活、ブラインドサッカーのことなどを話してくれました。

ブラインドサッカーでは、代表選手に選ばれる活躍をしながらも、子どものころからピアノを習い、高校の部活動では軽音楽部に所属して、歌うことも大好きだそうです。

学校では友達と仲が良く、楽しい学生生活を送ってきた様子が伝わってきました。

その一方で、ブラインドサッカーにも真摯に向き合っていて、小学生から日本代表として海外にも遠征して自分を磨き、中学生のときには国際試合の最年少記録も作ったそうです。

パリパラリンピックは、今まであまり負ける経験がなかったのに負けが続いてしまったため、うまく対応できず、力を出し切れなかったことがとても悔しそうでした。

筋肉量を増やし、身体を大きくして、次のオリンピックではメダルを目指したいと力強く話していました。

夢を持つことは大事、夢を持てることは幸せ、という言葉に、「まだ10代なのに、大きな目標を目指す人は心の持ち方が違うな」と感じました。

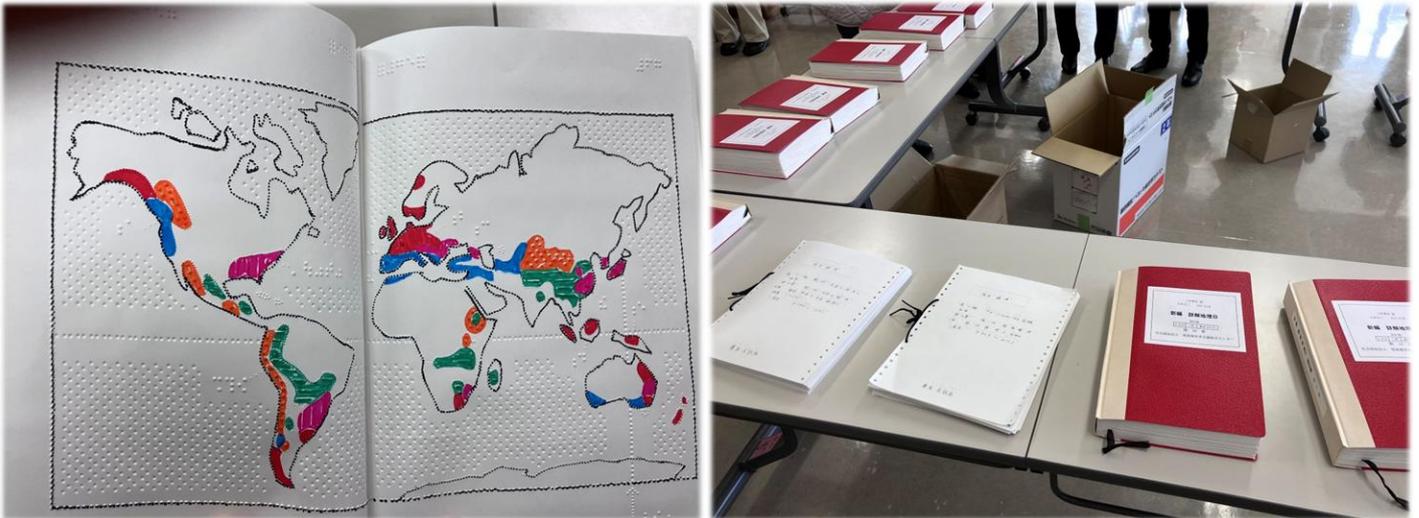
会場にブラインドサッカーのボールが置いてあって、触らせてもらいました。

思ったよりコロコロの音が小さくて、仲間の声などの中で聞き分け、プレイするのは至難の業だと思いました。

若い方からさわやかなエネルギーをもらいました。

(講演会には、ペンペン草から M さんも参加されたので、二人で感想を出し合いました。)

<点訳した教科書>



近況報告

今年度 手書き班の活動をお休み中の Mさんと Sさんに、近況をお聞きしました。
日々お忙しい中で、パンパン草の例会には参加できなくても、今自分のできることに
取り組んでおられる姿勢を、私も見習わなくてはと思いました。 [手書き班 H]

~~*~*~*

手書き班 M

ご無沙汰しております、諏訪の Mです。皆様お元気ですか？

今年度は、パンパン草の活動に参加できませんでしたが、日常の中で、仕事柄、電話を取る事が多いので、できるかぎり要約筆記を意識して電話のメモを取るようになっています。しかし、聞きながら、必要な情報を書いていくことや、聞き取る力など、難しいなと感じることも多く、現在、要約筆記から離れてしまっていますが、仕事の中で、日々の練習だと思って、意識して電話をとることを続けていこうと思っています。

今年度は、地域のPTA役員、クラスの役員を兼任し、下の子が小学校へ入学して、学校や地域の方々、同じようなPTA役員の方たちと様々な行事参加や、打ち合わせを行う機会が多い年でした。打ち合わせの多くは、基本的にLINEを使用したやり取りで、自分の考えや意見を文字にし、意見交換による相手の考えやお知らせを文字で読み取ります。

そのなかで、会って話をすればどうということはないことでも、全員への周知に時間がかかったり、説明が分かりづらかったり、質問があっても、グループLINEのため聞きづらかったり、ちょっとしたことでも文字で打たないといけないので、返信が遅くなったり、その間にLINEが進んでしまったり、と不便に感じる事が多くありました。LINE と

いう便利なツールがあっても、文章の書き方、伝え方、使い方などでこんなに不便な思いをすることがあるんだな、と考えさせられました。

また、限られた時間の中で集まって会議をした時には、連絡事項や資料に書かれていない注意事項などを早口で言われると、自分で書いたメモなのに、後で見返したときに、どういう意味なのか分からなくなることもあり、要約筆記者が、通訳者として日々の努力が必要な意味を改めて感じました。

私の周りには、聞こえに不自由がある人がいないこともあり、要約筆記について知っている人がほとんどいません。でも、要約筆記の必要性や重要性をもっと多くの人たちに知ってもらい、障害を隠したり、コミュニケーションをあきらめたりすることがないように、需要が高まっていくといいな、と常々思っています。

私は、特に子どもたちの役に立てる機会があるといいなと思っています。そのためにも、「書くこと」を意識して、要約筆記から離れないように生活していきたいと思っています。日常に流されてしまうので、理想と現実が離れてしまっていますが・・・

なかなか実践が伴わない状況ではありますが、来年度は、もう少しペンペン草の活動に参加できたら、と思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

～～*～*～*

手書き班 S

ご無沙汰しております！まだまだ寒い日が続きますが皆さんお元気でいらっしゃいますか。

私は、子育てや親の介助など何かと多忙な日々を送っています。なかなか要約筆記に触れる時間がとれない現状ですが、子どもと一緒に漢字の勉強をしています。漢字を覚えるのも一苦労ですが、同音異義語には特に苦戦しています。

先日のことですが、病院に行ったとき、お耳が遠い高齢男性に会いました。その際、今日は補聴器の調子が悪いのか聞こえが悪いこと、若い看護師さんが忙しそうで早口でしゃべること、など困っているとおっしゃいました。看護師さんの話をメモしてお渡ししたところ、大変喜んでくださいました。メモがとても読みやすいと言っただき、要約筆記を勉強してよかったなと思いました。また、看護師さんにも今日は忙しくて患者さんにゆっくり説明できないから助かりました！と言われました。要約筆記ではありませんでしたが、勉強したことが役立ったと実感を持ってました。

今はしっかり勉強する時間がとれませんが、できることを細く長く続けていけたらと思っています。

新会員のご紹介

今年度、パソコン班に新会員3名をお迎えしました(飯田要約筆記サークル「風」ご所属の2名を含む)。毎月の学習会にも積極的にご参加いただくなかで、経験豊かな先輩方の要約筆記の考え方や現場での関係方法等改めて共有させていただく機会をもつこともでき、メンバー間に好循環が生まれてると感じています。

ご入会されたみなさまに自己紹介のご挨拶をいただきました。 [パソコン班 S]

* ~ * ~ * ~ * ~ *

初めまして、飯田市在住の K です。

10月からパソコン班に入会させていただきました。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

要約筆記を知ったのは10年ほど前、通信制大学のスクーリング(名古屋と東京)に、パソコン要約筆記者を2人依頼して授業に参加している学生さんを見たときです。そのときの衝撃は今でも忘れられません。ノートテイクで2人の要約筆記者の中央に座って、授業を聴講していました。私はそのとき会釈しかできず、自分が情けなかったです。

大学を卒業したら、要約筆記を学びたいと考えていました。ミスタイプも多く、要約力がなく、どうしたらいいのか悩んでいたところ、飯田の先輩(S さん)からペンペン草さんに通ったらと背中を押してもらえて、わくわくしています。

松本の講座に行くより塩尻は近い！それに、おいしくてリーズナブルなコーヒーショップがあり、塩尻に来る楽しみもみつけました。

好きなことと食べ物は、旅行・ワンピース・スイカ・モンブラン・蕎麦です。

パソコン班 K

* ~ * ~ * ~ * ~ *

この度は、入会させていただき、ありがとうございます。

私の要約筆記との出会いは20年余り前になります。

その頃、パソコン要約筆記も始め、塩尻のみなさんにお世話になりましたが、今までの間、子育てやら、生活環境の変化の中で、リセットされてしまいました。

なにかと、学ぶのに難しい頭になってきていますが、よろしくお願ひいたします。

パソコン班 G

* ~ * ~ * ~ * ~ *

私は身内に難聴者がいたことがあり、耳が遠くなった際のコミュニケーションの取り方の難しさをどうにかできないか、TVの字幕みたいなことができればいいなと考えており、合同講座の要約筆記を体験し、一つの答えかなと思いました。

私自身、体調が悪い時は耳鳴りがあり聞き取りにくい時があります。いつか要約筆記のお世話になる時もあるかもしれません。

これから要約筆記を色々勉強していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

パソコン班 S

私のお気に入り

パソコン班 N

我が家は2年ほど前からAmazonのアレクサシリーズ、エコドットとスイッチボットを使っています。2つセットで1万円くらいで購入しました。



エコドット

これは、エコドットへ「アレクサ、(質問)」と話しかけると、エコドットが音声で回答してくれるものです。

例えば、「アレクサ、今日は何日」と質問すると、エコドットが「12月19日木曜日です」と答えてくれます。「アレクサ」から始めて、ニュース、天気予報、言葉の意味など質問すると、なんでも答えてくれます。

また、赤外線のリモコンで操作できる家電があれば、スイッチボットと連携して操作してくれます。

例えば、「アレクサ、電気をつけて」と言うと、部屋の照明をつけてくれます。テレビ、エアコンも操作してくれます。

さらに、デジタル温度計を追加して、設定した温度を超えると自動的にエアコンをつけることもできます。他にも、外出先からスマホアプリで家の家電を操作することもできます。

買った直後は物珍しさでいろいろ質問したり、いろんな操作をお願いしてみても楽しんでいましたが、2、3カ月するとだんだん飽きてきました。質問の答えはネット検索したもので、家電の操作も複雑になると言葉で表現するより、家電のリモコンで操作した方が早いことに気がついたためです。



スイッチボット

そんなわけで、現在アレクサに話しかけるのは次の3つくらいになりました。

「アレクサ、電気をつけて」夜暗くなって帰ったときに、照明のリモコンを探す必要がない。

「アレクサ、今何時」夜中に目が覚めた時に、時間を確認する。

「アレクサ、3分たったら教えて」カップラーメンを食べるときのタイマー。

今はちょっとだけ便利に使っています。

機関紙発行にあたり、みなさまにご協力をいただき、感謝いたしております。

初の編集担当号から遅くなり、申し訳ございません。

今後も、ご意見、ご指導くださいますよう よろしくお願ひ申し上げます。〔パソコン班 S〕